常務理事
労働課長
事務主任

極秘

昭和九年九月十四日（午後三時四十分）

警視庁特別高等警察部労働課

市電争議ニ関スル情報（第七三報）

一、東交争議首脳部及書記局ノ「スト情報其ノ他発行」

首脳部ニ於テハ十四日午前十時「報告ト注意」及書記局ヨリ今時ニスト情報第十八報ヲ発行各支部ニ対シ配送セリ。

尚本部ニ於テハ既報ノ「市電従業員より（三）度全市民諸君に訴ふ」ナル印刷物ヲ作成各支部ヲ通シ一般市民ニ配布セリ

二、社大党並日本労働組合会議系主催ノ市電争議ニ関スル演説会状況

標記団体ハ市電争議応援ニ関スル演説会ハ十三日夜京橋公会堂外数ヶ所ニ開催シタルカ状況左記ノ通

9.9.21
5870

に掛長交主任の野郎が切り崩しにかゝらんとしたので断乎撃退した青山黒次おし

▲電車三田　ヱ試訴向と家族慰問係をくり出す目黒、品川方面十名訴向案の如害詳細説明了解を求め同情するもの四名積極的に意見を述べたるもの五名位のため面会拒絶一日黒ヱの葉ヱ試は千葉ヱ長がヱ改を祝り出して青年団服着用市電の腕章をつけ狂奔していゐを慨慨していゐヱ試の多くは市のとり方を攻撃していゐる家族慰問係は予想外に元気なのに驚いてゐた家庭の事は心配せずにと銃後を守るもののけなげな人々に慰問係は今更ら人を深くして帰った、

▲電力部各支部慰問係組織午後三時慎振務に筆城の者日町支部訴向したるに今訴へ者日町主任都属係一が来たり市民のため果非罷業を打切り職場に引き争げて貰いたい君等全員都合悪ければ三人でも五人でも帰ってくれと手末の情宜を利用し涙を流して口説き落しの最中なりしを以て慰問係も協力断手排撃已に鉄釜の雨も痛り罵わ向敷形勢にあり、くの件で逃げ帰つたものより今支部は一層結束を固め奮斗を誓ひたり、切り崩しに警戒せよ！

▲電車三ノ輪　持久戦の準備は出来た一日は大々的解散の噂があってもビクともせず俱示部を合法的本部としてゐてあつてゐる応援演説会には三十人以上弁士動員する斗争委臨時に三円徴収全員気勢昂揚一人なるも戦小、

▲城北地区　斗争力は益々旺盛ヱ会試員市会試員訴向に際して電気局で発行せる待遇系改に対し車の比較表が必要な如何なる仕事でも用員は喜んで参加する市電更生保進联盟頒布のビラに対して反バクの暴露じ必要だ、

▲電車早稲田　指令により市ヱ試訴向、留守の婦人の斗志高し、家族大会十五日午後一時より長崎町一ノ二五五大吉屋方にて開く。